

### 第3回垂水街角美術館課外授業 「流木アート」を開催



7月18日、森の駅たるみずで、第3回垂水街角美術館課外授業「流木アート」が開催されました。これは、12月12日（日）まで開催している「～桜島・鳥・人～向吉文男展」のオープニングイベントとして垂水街角美術館事務局が企画したものです。当日は、約40名の子どもたちが、長い年月をかけて海や川にながれついた流木を使って、自分好みの流木造形作品を作り上げ、満足そうな様子でした。参加者は「流木が様々な形をしていて、作るのが難しかったです」と話しました。

7月19日、フェンシング日本代表（種目：エペ）の吉松琳果さんが市長室を訪れました。吉松さんは、今年4月から垂水市フェンシング協会の所属選手として、鹿児島国体（2023年）やパリ五輪（2024年）を目指して練習に励んでいます。吉松さんは「垂水市の皆さんにフェンシングの魅力を伝え、喜んでいただける試合がしたいです」と話しました。垂水市は鹿児島国体のフェンシング競技開催地です。吉松さんの活躍を期待します。皆で応援しましょう！



※ 2020年日本ランキング16位 / 2018年全日本選手権団体戦で優勝

フェンシング日本代表  
吉松琳果さん表敬訪問

### 大きくなってね マダイ放流



7月16日、牛根地区の海で、松ヶ崎、牛根、境小学校の児童がマダイの放流を体験しました。これは、牛根漁協が水産業に関わる体験を通して、ふるさとの海を愛し、豊かさを知り、海を身近に感じてほしいと開催したものです。当日はバケツを利用して、約2,000匹のマダイの稚魚が放流されました。児童たちは、「大きな魚に食べられず元気に育ててほしい」「いのちを繋いでいってほしい」などと話しました。児童はもちろん、先生方にとっても、垂水の学校ならではの貴重な体験となりました。

### 垂水市漁協 カンパチ弁当贈呈



7月8日、垂水中央病院で、カンパチを使用してお弁当の贈呈式が行われました。これは、コロナ禍の中、医療の最前線で懸命に働かれている医療従事者の方々に、日頃の感謝と敬意を込めて、垂水市漁協が企画したもので、約400食のお弁当が9日間にわけて贈呈されました。岩切組合長は「医療従事者はコロナ禍の最前線で大変な思いをして、市民の方々を守ってくださっていることに感謝します」とあいさつしました。思いがけない夏のプレゼントに、医療従事者の方々は喜ばれていました。

7月11日、鹿屋市武道館で、第21回肝属地区体育大会全空連空手道競技が開催され、岩元南樹さん（垂水小5年）が、小学5・6年【形の部】で、見事に3位の成績を収めました。普段は鹿屋系東会で稽古を重ねている岩元さんは「上級生がいる中で、賞を取ることができてうれしいです。次は優勝を目指したいです」と話しました。東京オリンピックで大会種目に初採用された「空手」。将来のオリンピック選手となることを期待します。



全空連空手道競技で活躍  
岩元南樹さん

## まちの話題

Tarumizu TEA TIME

### 過去の優秀作品をまとめた 「垂水の魅力を知る楽しい俳句の作り方」



7月20日、市内の小・中・高等学校の終業式にあわせて、児童生徒に俳句集が配布されました。これは、市教委が俳句を通して、垂水の魅力を感じてもらい、自分の言葉で表現する楽しさを知ってほしいと刊行したものです。「ふるさとの再発見」につながることを期待します。